

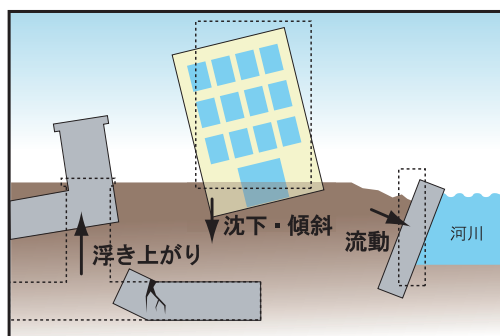
# 液状化危険度マップ

## 液状化危険度マップについて

この**液状化危険度マップ**は、地震発生時、地盤が揺れることによる直接の被害とは別に、地下水位が高く、ゆるい砂からできた地盤で発生する災害「液状化現象」が予想される地域について、現象が発生する可能性を、ボーリングデータ等から推察し、色分けして表したものです。

なお、このマップは作成時点の既存ボーリングデータおよび国土地理院の土地条件図に基づく地形分類により評価したものです。

## 液状化現象



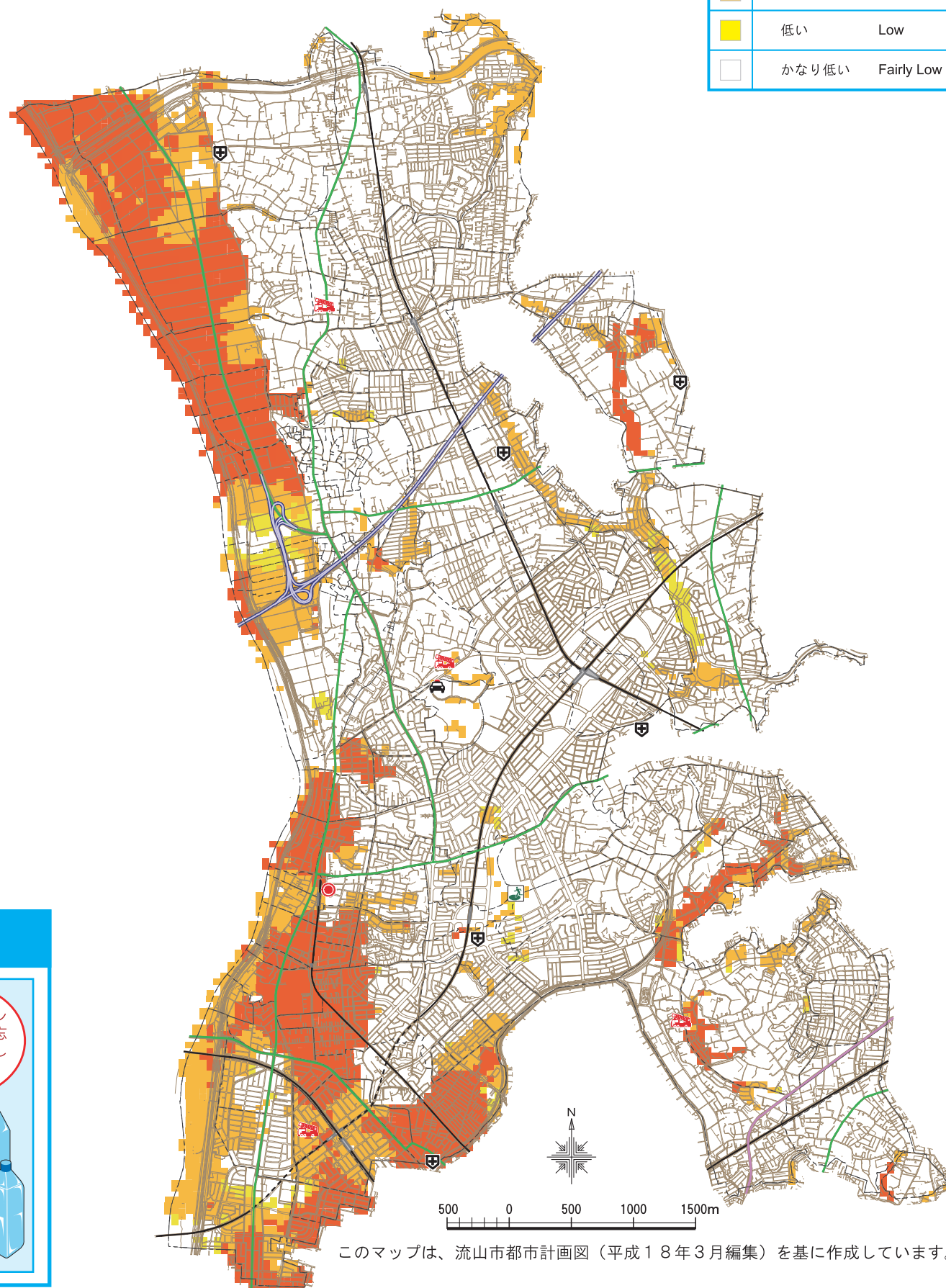
液状化が起こると、地盤が液状になるため、地盤が重い建物等を支えることができなくなり、建物等の沈下や傾斜が起きたり、地中の軽い管路や地下タンク等は浮き上がったりします。この他、河川の護岸近傍や緩い傾斜地において、場合によっては数メートルにわたって地盤が流動することもあります。

## 液状化被害への備え

東日本大震災における東京湾岸地域のように、日常生活に深く関わっているライフライン（電気、ガス、水道）や道路等も液状化による被害を受けることが少なくありません。危険度の低い地域においても、ライフラインの被害は、広域的に影響が波及すること考えられますので、備蓄品および非常時持ち出し品の中に、ライフラインの代用品も忘れず準備しておきましょう。



凡 例 Legend		
Rank of Liquefaction Risk 液状化危険度ランク		
	極めて高い	Quite High
	高い	High
	低い	Low
	かなり低い	Fairly Low



このマップは、流山市都市計画図（平成18年3月編集）を基に作成しています。